



薬の名前（製品名）の由来

織田信長が戦国の世を統一した後、豊臣政権を樹立した豊臣秀吉は豊臣の姓を名乗る以前、羽柴秀吉と名乗っていました。その羽柴という姓は先輩であった丹羽長秀という武将の「羽」と柴田勝家という武将の「柴」の一文字ずつ貰って姓を「羽柴」と付けたのは有名な話です。何事にも名前には由来があります。

製品名（くすりの名前）はカタカナの羅列で非常に覚えにくいものが多いです。また薬効（薬の効果）と製品名がどう結びついているのかがよくわからないのが現状です。しかしこの製品名にも由来があるのはご存知でしょうか。この製品名のなかにも薬効が隠されているものがあります。たとえば抗生物質の「タゴシッド」はターゲットであるMRSA（耐性菌）を殺菌するという意味で **TARGET**（標的）+**BACTERICIDAL**（殺菌）→**TARGOCID** と命名されました。タゴシッドと聞いた時は、田吾作みたいな変な製品名だと思っていましたが由来を知ってから、なるほどと感心し、私はすぐ覚えてしまいました。

セフェム系抗生物質の「パンスポリン」は広い（PAN）抗菌スペクトル（細菌に対し抗菌効果を示す範囲）を有するセファロsporin（SUPORIN）系という意味から **PANSUPORIN** と命名されました。これはセファロsporin系抗生物質でも広範囲に抗菌スペクトルを有する抗生物質ということが理解出来て覚えやすくなっています。

アセトアミノフェンは解熱、鎮痛薬の一つですが、この成分（一般名）の製品名に「**アンヒバ坐薬**」がありますが、この製品名の由来は **ANTI**（例えばアンチ巨人などで使われている）+**FEVER**（熱）→アンチフィーバーすなわち「**アンヒバ**」となります。薬効を連想する、覚えやすい製品名となっています。少々ダジャレのような命名法ではありますが、こういう命名法は少なくないのです。

抗精神薬の「**セレネース**」では優れた鎮静剤ということから、**静かなまたは穏やかな**（**SERENE**）+ **優秀な**（**ACE**）→**SERENACE** と命名されました。なかなかスマートな命名であり薬効も覚えやすくなっています。

また成分（一般名）が隠されている製品名も数多くあります。たとえばがん性疼痛などに使用される持続性麻薬である「**MS コンチン錠**」の成分はモルヒネ硫酸塩です。**モルヒネ**（**MORPHINE**）+ **硫酸**（**SULFATE**）+ **持続性**（**CONTINUOUS**）**錠**（**TABLET**）→**MS CONTIN錠**と命名されました。なるほどと思える命名であり、成分が覚えやすい製品名です。

ところで製品名のなかにはなかなか面白いところから命名されたものがあります。たとえば乾燥酵母の「**エビオス**」はビール酵母の研究が恵比寿で行われていたことから命名されたとのこと。このように覚えにくい製品名と命名の由来を関連付けて覚えると少しは覚えやすく、薬が身近に感じるようになるのではないのでしょうか。

けいゆう病院 薬局 関山 正夫

《編集後記》活躍する薬剤師を紹介しています。今後も様々な事業を企画してまいります。ご要望などございましたら、下記の事務局までご連絡お願いいたします。

《発行》（社）神奈川県病院薬剤師会

〒235-0007 横浜市磯子区西町14-11 神奈川県総合薬事保健センター4階

TEL：045-761-3345 FAX：045-761-3347

インターネットアドレス：<http://www.kshp.jp/>

